

## 生徒指導と一体になった校内研究

松浪中学校では、学習指導と生徒指導を関連付けて捉え、授業力向上に向けての努力を生徒指導に生かそうと取り組んでいます。学校教育目標「ふれあい 思いやり 正しい行動」の実現に「学びあい」からアプローチすることを考えています。

「学びあい」とは、知識・理解の定着のため教えあい、またその理解を伝え合うことで自分の視点を増やし、深い思考に発展させると同時に、相手の考えを受け容れる人間的成長を目指しています。他を尊重するあたたかな人間関係を育み、高めあい、支えあうことのできる集団づくりを目指します。

学校全体で、全員で目的を理解して取り組んでいきたいと思えます。

**学校でできるようになること  
考えを深めあい、一人一人が成長する。**

聴くこと	目的	話すこと
話し手が <b>安心して話せる</b> ように聴く	<b>レベル3</b> 考えを深めあう	聴き手が <b>聴こうと思える</b> ように話す
自分の考えと <b>比較して</b> 聴く	<b>レベル2</b> 考える視点を増やす	聴き手に <b>影響を与える</b> ように話す
<b>理解しよう</b> として聴く	<b>レベル1</b> 理解する	聴き手が <b>理解できる</b> ように話す

レベル1・・・個人の理解。

レベル2・・・他者との中での個。他との比較を通して個の変容がある。

レベル3・・・クラス全体。多くの交流をし、全体として高めあう。1と2が活発に行えるような雰囲気作り。これができるとレベル1と2の質が向上する。学校生活における究極の目標であるとともに、すべての活動の土台でもある。



授業を通した生徒指導の根本

※レベル2と3は学校に来ているからこそ高められる力。学校で大事にしたいもの。

